

解 答

問一 ① ア ② エ ③ イ

問二 イ テレビの報道を通じて人々の悲しみが伝わってくる心にしっかりと記憶される

問三 1 海が恩恵だけでなく、ときに災害をもたらすものである」とを深く理解し、いかなる困難にあってもくじけるとなく海と真剣に闘わり続けようとする態度。

問四 2 千年ほど前に甚大な被害を同じ地域にもたらした津波の記録

問五 ウ a 映「る」 b 沿岸

問六 エ いらっしゃる

問七 エ 1 わ 2 オ 3 ウ

問八 エ 1 ん 2 おに 3 さそつ

問九 エ 1 ら 2 重宝 3 新築 4 盛大 5 祝「い」 6 心得

問十 エ 1 ウ 2 り 3 ウ

問十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問二十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問三十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問四十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問五十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問六十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問七十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問八十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問九十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百二十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百三十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百四十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百六十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百六十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百六十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百六十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百六十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十九 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百六十 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十一 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十二 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十三 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十四 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十五 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十六 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十七 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

問一百五十八 エ 1 ウ 2 オ 3 ウ

</

問五 まず、「海と向き合うとはそ、ういうことなのだな」の「そ、ういうこと」の指示内容をおさえます。それは「めちゃくちゃな被害を与えた海だけれど、だから嫌いになつた、とはいわない。だからもう見たくもないとは、いわない」ということです。そして、傍線部の直後「海に限らずなにかと真剣に係わるとは、そういうことなのだろう。災害と海そのものとは、別。」これまで自分も、この海の恩恵をどれほど受けてきたことだろう」とあるので、この傍線部の前後の部分をまとめればいいのです。

問六 空欄文の主語を答える問題です。言い伝えと化し、眠る標本のようになつてしまつた過去の出来事とは何でしょうか。この段落のはじめにある、「千年ほど前の津波の記録」のことです。

問七 「あなどる」とは、「相手の力を軽く見てばかりにする」という意味です。

問八 文章全体から筆者の考えを読み取ります。選択肢の前半はみな同じなので、後半の「わたしたちは」とどうすべきかを考えます。第2段落の最後「破壊の後には、新たな誕生がきっと来る」の部分が根拠になっています。

問九 「来る」「写る」などの同訓異字に注意しましょう。

問十 「来る」の尊敬語は「いらっしゃる」です。「いらっしゃる」は、他に「行く」「いる」の尊敬語でもあります。

問十一 dの「の」は「が」に言い換えられます。→「オ」の「雪の降る日」。eは「の」のままで言い換えません。↓

「ウ」の「姉の本」。

問十二 慣用句の問題です。1は「涙をのむ」、2は「おにの目にも涙」、3は「涙を誘う」です。

問二 「小言きり出ない」という意味がもしわからなくて、この言葉の前後を読んで考えてみましょう。「小言きりの「きり」とは「それだけ」の意味です。

問三 まず文章の前半で家族の境遇を正確に読み取りましょう。親の仕事が不景気で、中学生のシンサクが働いてかせいでいるのです。母から買い物を頼まれ、自分がお金を出す時に、ちょっとといい気持ちになつてている場面です。「重宝がられて」ともあるように、両親に頼りにされて誇らしく感じているのです。

問四 シンサクの決心は、傍線部⑥の後を読んでいくと『よし、おら、自分で金ためる！五百円ためる！』とシンサクは「こう決心したのだ」とあります。もちろん、登山に行くためのお金です。

問五 傍線部の一文を読むと「先生も小学校のときのタケシ先生が、生徒といっしょに中学の先生になつたのだから、みんなの意気は、天をつくようだつた」とあります。みんなの気持ちが上を向くのですから、前向きな様子を表す「とてもはりきつていた」が正解です。

問六 先生の答えは「それで、先生、考えて、記念のために登山を計画したんだ」とあるので、「それで」の指示内容を考えればいいのです。直前の「人生には、たのしいことも、苦しいこともある。おめえたちも、これから、人生の坂をのぼりはじめるところだ」の部分を中心によくと、いつもそうなるのだ。遠足といえば、いつも『いかせる、いかせない』で、家のなかがもめて、けつきよく、今まで一度も遠足というものにいたことがない』とあります。「胸のなかが、スウと寒くなつた』のですから、またいつものようになると不安になつてているのです。

問七 傍線部の直後を読むと「遠足と聞くと、いつもそうなるのだ。遠足といえば、いつも『いかせる、いかせない』で、家のなかがもめて、けつきよく、今まで一度も遠足というものにいたことがない』とあります。「胸のなかが、スウと寒くなつた』のですから、またいつものようになると不安になつてているのです。

問八 この「られ」の意味は「受け身」。アは「自発」、イは「受け身」、ウは「尊敬」、エは「可能」です。

問九 問四で決心したようにシンサクは登山に行くためにお金を貯めています。ところが、家族がシンサクのお金を頼りにしているために、なかなかたまらないのです。それは傍線部直前の「う七十円とつた。みやげにナットウを買つて、三十円へつた。次の日曜日うがんばつて、百円。けれども、母ちゃんに七十円借りられた」とあることからもわかります。

問十 「白まだらの大蛇がとぐろを巻いて、ねて いるようだ」という比喩表現を読み取る問題です。まず「白まだらの大蛇」とは、「どころどころに雪が残っているハツコマ山」のことです。「大蛇」ですから、こわい気持ちもあるのですが、傍線部直後に「あの背中、ドンドン」とぶんづけてやるぞ！」とありますので、シンサクは登ろうと意欲的な気持ちでもいるということがわかります。

問十一 問九ではなかなかうまくまとめていかつたお金でしたが、旅行近くになると「うまくいきすぎちゃつた」と言っています。シンサクは登山に行けることがうれしくてたまらないのです。

問十二 傍線部の前に「七月二十二日の朝、先生から登山旅行の注意があつた。二十四日の朝、六時半、校庭集合、七時出発。金は二十三日、当番が集める……」とあります。「次の日」とは、この「七月二十二日」を基準に考えます。

問十三 傍線部の後の「あしたはべんとうだけ持つてこい」という先生の言葉からもわかります。

問十四 いう手紙には、「お金のことは何とかするから一緒に登山に行こう」という気持ちがこめられていると考えられます。

問十五 「美しい」とあります。が、ただ景色が美しいだけではありません。シンサクの気持ちが、景色をより一層美しく見せているのです。一生懸命にお金を貯めて、行けると決まりかけた登山が前日にダメになり、一度はあきらめいたのに、先生のおかげで行けることになつたのです。その喜びと先生への感謝で、胸がいっぱいいたたのでしょう。